

第2部 令和4年度市町村税の収入実績

※「市町村税の徴収実績に関する調」より

I 令和4年度市町村税収入実績の概要

1 総括

令和4年度の市町村税収入済額（国民健康保険税（料）を除く。）は、3,859億90百万円と前年度に比べ139億84百万円の増加となり、前年度から3.8%上昇した。主な要因として、市町村民税が35億68百万円、固定資産税が81億50百万円増加したためである。

2 税目別

市町村民税は前年度比2.1%増の1,773億20百万円となった。内訳をみると、法人均等割は1.3%増の89億67百万円、所得割は1.2%増の1,416億64百万円、法人税割は8.7%増の227億2百万円となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた経済活動が徐々に回復し始め、個人事業及び企業業績が復調傾向に転じたことによるものと考えられる。一方、個人均等割が0.7%減の39億88百万円となった。

固定資産税は5.5%増の1,555億円となった。内訳をみると、土地は3.5%増の489億70百万円、家屋は6.7%増の710億36百万円、償却資産は6.4%増の343億6百万円となった。これは、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策に基づく税制上の軽減措置等が終了したことによるものと考えられる。

その他の普通税では、前年度と比べて軽自動車税が5.0%、市町村たばこ税が5.7%それぞれ増加となった。

目的税では、前年度と比べて都市計画税が5.0%、入湯税が35.3%それぞれ増加となった。一方、事業所税が3.5%減少となった。

収入済額の税目別構成比は、市町村民税が45.9%、固定資産税が40.3%で合わせて全体の86.2%を占めた。（前年度構成比 市町村民税46.7%、固定資産税39.6%）

3 収入率

県全体では98.0%（前年度97.9%）となり、前年度から0.1ポイント上昇した。

市町村別の状況では、22団体が前年度の収入率を上回った。また、県全体（98.0%）を上回った市町村は13団体、下回った市町村は22団体であった。

前年度からの伸び率が大きい団体は、松島町の98.6%で、2.1ポイント上昇した。

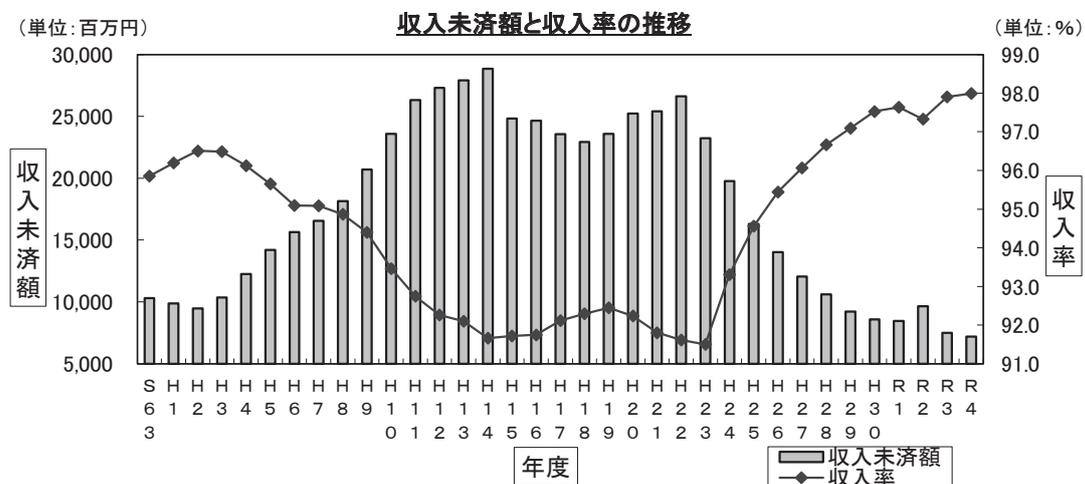
収入率上位3団体は、七ヶ宿町の99.4%、南三陸町の99.0%、女川町の98.9%となっており、下位3団体は、蔵王町の93.9%、白石市の94.3%、川崎町の94.5%となった。

前年度の収入率を上回った主な税目は、固定資産税98.1%（前年度97.9%）、軽自動車税95.8%（前年度95.5%）、入湯税99.5%（前年度98.6%）都市計画税98.6%（前年度98.5%）であった。

(参考) 年度別市町村税の収入状況

(単位:千円、%)

年度	調定済額	前年度比	収入済額	前年度比	収入未済額	前年度比	収入率
S63	248,198,462	105.7	237,906,533	105.7	10,291,929	105.1	95.9
H1	259,710,584	104.6	249,833,097	105.0	9,877,487	96.0	96.2
H2	271,116,836	104.4	261,648,771	104.7	9,468,005	95.9	96.5
H3	294,685,074	108.7	284,331,395	108.7	10,353,679	109.4	96.5
H4	316,233,499	107.3	303,969,412	106.9	12,264,087	118.5	96.1
H5	326,637,547	103.3	312,436,238	102.8	14,201,309	115.8	95.7
H6	318,937,282	97.6	303,287,446	97.1	15,649,836	110.2	95.1
H7	337,060,571	105.7	320,503,122	105.7	16,557,449	105.8	95.1
H8	353,521,292	104.9	335,372,007	104.6	18,149,285	109.6	94.9
H9	369,695,063	104.6	348,985,553	104.1	20,709,510	114.1	94.4
H10	360,979,765	97.6	337,383,272	96.7	23,596,493	113.9	93.5
H11	362,762,137	100.5	336,455,590	99.7	26,306,547	111.5	92.7
H12	352,711,086	97.2	325,412,680	96.7	27,298,406	103.8	92.3
H13	353,296,355	100.2	325,380,509	100.0	27,915,846	102.3	92.1
H14	345,809,604	97.9	316,974,767	97.4	28,834,837	103.3	91.7
H15	334,970,439	96.9	307,237,079	96.9	24,819,092	86.1	91.7
H16	331,453,201	98.9	304,097,575	99.0	24,648,106	99.3	91.7
H17	332,657,421	100.4	306,432,437	100.8	23,559,306	95.6	92.1
H18	332,751,741	100.0	307,107,272	100.2	22,937,088	97.4	92.3
H19	355,274,933	106.8	328,430,596	106.9	23,580,253	102.8	92.4
H20	360,655,534	101.5	332,664,887	101.3	25,220,524	107.0	92.2
H21	348,412,267	96.6	319,852,477	96.1	25,406,436	100.7	91.8
H22	342,567,919	98.3	313,840,595	98.1	26,610,262	104.7	91.6
H23	306,597,218	89.5	280,527,605	89.4	23,231,750	87.3	91.5
H24	323,457,547	105.5	301,813,909	107.6	19,769,259	85.1	93.3
H25	333,616,246	103.1	315,472,880	104.5	16,290,875	82.4	94.6
H26	341,709,390	102.4	326,137,016	103.4	14,029,121	86.1	95.4
H27	344,702,729	100.9	331,130,966	101.5	12,038,832	85.8	96.1
H28	349,167,434	101.3	337,520,133	101.9	10,616,564	88.2	96.7
H29	353,506,871	101.2	343,224,195	101.7	9,203,399	86.7	97.1
H30	378,029,766	106.9	368,682,461	107.4	8,576,433	93.2	97.5
R1	386,212,473	102.2	377,074,612	102.3	8,467,304	98.7	97.6
R2	384,502,391	99.6	374,220,541	99.2	9,647,793	113.9	97.3
R3	379,967,285	98.4	372,005,913	98.7	7,487,443	88.4	97.9
R4	393,894,923	103.7	385,989,995	103.8	7,203,918	96.2	98.0



※ 平成14年度から平成15年度にかけて「収入未済額」が激変しているのは、算出方法の見直しによるもの。
 平成14年度まで:「収入未済額」=「調定済額」-「収入済額」
 平成15年度から:「収入未済額」=「調定済額」-「収入済額」+「還付未済額」-「不納欠損額」